



生涯学習 まなびの森

平成16年度生涯学習標語コンテスト奨励賞

「広めようみんなで作る学びの輪」

佐藤 友紀（新町）



学長⑥から修了証を受け取る
渡辺茂彦さん(73歳・茶屋場)



学びの1年を笑顔で締めくくりました

生きがい見つけてますます元気

741人が高齢者大学を修了

平成十七年度高齢者大学修了式が地区公民館
ごと開催されました。式では、学長（村木登
教育長）から修了証書が授与され、体験発表や
講話などで学びの一年を振り返りました。

町では幼児・青少年・成人・高齢者など生涯の各時期における学習を進めています。五月から開講していた高齢者大学では、町内十九地区、七百四十一人が創作や体験、研修視察などで学びを深めました。

二月二十一日、総合センターで行われた葛巻地区修了式には百四十人が参加。学長から「修了は卒業ではありません。また新たな気持ちで学び、充実した人生を送りましょう」と、修了証書が授与されました。

受講生を代表して沢口政美さん（78歳・城内小路）が「これからもみんなで楽しく学び、生きがいを見つけていきたいと思います」と述べ、誓いを新たにしました。

路線バスで参加

路線バスは、お年寄りにとって不可欠です。高齢者大学では「教室に参加する際は、できるだけ路線バスにしよう」という取り組みをしました。参加した上脇キヨシさん（80歳・車門）も「まず自分たちが利用することが、バス存続のために大事なこと」と取り組みに理解を示していました。



路線バスを利用して教室に参加する江刈地区の受講生

地域で育てる青少年⑦

～子ども会活動に5カ年のビジョンを～



子どもたちは、長い年月、子ども会の会員として活動します。1年生が5年後に、会長や役員として活動する姿を実現するために、計画的な活動を持ち、子どもたちの成長を地域で支えることが必要です。

役員交代により継続性が失われることにならないように「単年度ごとの目標」と

「次年度へのステップアップ」を伝えていくことがポイントになります。

また、育成会の大人は、子どもたちの活動場面によって「促す」「見守る」「任せる」の3つの接し方を計画的にすることで、子どもの成長が期待できることを確かめ合ひましょう。